

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330342051	子ども家庭支援の心理学 Psychology of child and family support	藤田依久子		専門	2	必修	4後期
科目の概要							
様々なカウンセリングの理論に触れることにより、カウンセリング心理学における認識の幅を広げる。							
学修内容				到達目標			
① 精神分析理論のリビドー発達の見地以外の性格論（防衛機制、局所的見地、コンプレックス）について学習する。 ② ロジャーズの自己理論に関して学習する。 ③ 行動主義、論理療法、ゲシュタルト療法、実存主義的アプローチ等に関して学習する。				① 精神分析理論のリビドー発達の見地以外の性格論（防衛機制、局所的見地、コンプレックス）について説明することが出来る。 ② ロジャーズの自己理論に関して説明することが出来る。 ③ 行動主義、論理療法、ゲシュタルト療法、実存主義的アプローチ等について説明することが出来る。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	・自分なりの課題意識をもって講義内容を聞き、要点を筆記する。 ・グループ討議では、積極的に意見を述べ、協力して発表内容をまとめる。					
	働きかけ力						
	実行力	・グループ討議で意見を出し合い、整理して、聞く人に伝わるように発表できる。					
考え抜く力	課題発見力	・実習経験や今までの学修を基に課題を探し出すことができる。					
	計画力						
	創造力	・グループ討議や発表で、他の学生の意見を聞き、自分自身の経験と合わせて、意見をまとめることができる。					
チームで働く力	発信力	・講義内容で疑問に思ったこと、分からないことを積極的に質問できる。					
	傾聴力	・講義内容、他の学生の意見に耳を傾け、自分自身のこととして考えることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	・無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、基本的なルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	・自己のストレスに意識を向け、その予防や対応を考えることができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：カウンセリングの理論 國分康孝 誠信書房 参考文献：カウンセリングの技法 國分康孝 誠信書房							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：こどもと人間関係、教育相談（カウンセリングを含む。）、教育心理学、子ども家庭支援の心理学、子ども家庭支援論 資格との関連：保育士							
学修上の助言				受講生とのルール			
カウンセリング心理学、その中でもカウンセリングの理論に関する学習内容である。子どもの発達段階や発達課題等、これまでの学習内容を踏まえて授業に取り組むこと。特にアセスメント能力を伸長させて欲しい。				出欠は授業開始時に、出欠をとった時点で終了とします。遅刻は原則として認めません。欠席扱いとします。ただし遅延証明書のある場合は考慮します。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓			授業で学修した内容の理解度を確認し、自身の考えを述べているかを評価する。	
				②	✓				
				③	✓				
	平常評価	小テスト		0	①				
					②				
					③				
		レポート		0	①				
					②				
③									
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			30	①	✓			小グループによるシェアリングに積極的に参加しているか、また積極的に質問等を行っているか等を評価する。	
				②	✓				
				③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓			（主体性）テキスト以外のカウンセリングの概念に関しても、積極的に学ぶことができる。 （実行力）カウンセリングの理論について記述、説明することができる。 （課題発見力）カウンセリングの理論について、自分なりに疑問点を見つけることができる。 （創造力）発問において自分なりの考えを持つことができる。 （発信力）必要な時に、意見を述べたり、発表したりできる。 （傾聴力）あいづちやうなづきなど伴って話を聞く姿勢が身に付いている。 （規律性）スムーズな授業進行に協力できる。 （ストレスコントロール力）感情をコントロールすることが出来る。	
				②	✓				
				③	✓				
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・出席状況がよく「子ども家庭支援の心理学」に関する幅広い知識を説明することができ、成果発表、社会人基礎力も身に付いている (S) ・出席状況がよく「子ども家庭支援の心理学」に関してほぼ説明することができ、成果発表、社会人基礎力も身に付いている (A)	出席状況はよい。「子ども家庭支援の心理学」に関する知識を所々説明でき、成果発表、社会人基礎力は身に付いている (B)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	精神分析理論の防衛機制について学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	精神分析理論の防衛機制について説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
2	精神分析理論の局所的見地について学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	精神分析理論の局所的見地について説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
3	精神分析理論のコンプレックスについて学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	精神分析理論のコンプレックスについて説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
4	自己理論の人間観、来談者中心療法について学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	自己理論の人間観、来談者中心療法について説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
5	行動主義のレスポナント条件付けに関して学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	行動主義のレスポナント条件付けに関して説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
6	行動主義のオペラント条件付けに関して学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	行動主義のオペラント条件付けに関して説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
7	行動主義の様々な技法に関して学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	強化、消去を踏まえ、行動主義の様々な技法に関して説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
8	論理療法に関して学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	論理療法(ABCDE理論)に関して説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ゲシュタルト心理学の基礎概念を学ぶ。	講義 シェアリング 発表 質問	ゲシュタルト心理学の基礎概念に関して説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
10	ゲシュタルト療法の基礎概念に関して学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	ゲシュタルト療法の基礎概念に関して説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
11	実存主義的アプローチについて学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	実存主義的アプローチの人間観に関して、説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
12	交流分析の人間観に関して学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	交流分析の人間観(特にP・A・C)に関して説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
13	交流分析の時間の構造化に関して学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	交流分析の時間の構造化に関して説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
14	特性因子理論に関して学習する。	講義 シェアリング 発表 質問	特性因子理論(特に信賴性・妥当性)に関して説明することが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	
15	学んできたそれぞれのカウンセリング理論を、人間観、性格論、病理論、治療目標等の視点から比較する。	講義 シェアリング 発表 質問	学んできたそれぞれのカウンセリング理論の違いを、簡潔に述べることが出来る。	(復習) 講義の内容を簡潔に説明できる (予習) 次回のテキスト個所を朗読、疑問点を把握しておく	90	

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力